

貨物1・3ヶ月で妥結

前年比0.29ヶ月減 経営のツケ社員に押し付け



No. 2667
2013年12月30日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

客貨一体で闘う事が大事

各地の集会から

11月26日、JR貨物会社は、13年度年末手当の支払いで、基準内賃金の1・3ヶ月分（12月10日支払い）という、超低額回答を示した。社員家族の切実な声、願いに背を向け踏みこむ回答に対し、組合は席上強く抗議し、各級機関に対し抗議行動を指示。地本内においても各地で抗議行動等を展開した。

11月26日の回答を受け、席上本部は厳しく抗議し、直ちに再回答を求める申し入れ（国労闘争3号）を行なうとともに本部闘争指示13号を発し全国の職場から抗議行動の展開を指示した。これを受けて各貨物分会は貨物本社及び支社に抗議文と再回答を求めるFAXを送付。また国労宮城県支部も同様のFAX行動を行った。

再回答を求め抗議行動

11月28日、郡山工場支部では昼休みに31人の結集で抗議集会を開催し、決意表明に立った貨物分会千葉委員長は、「昨年は4億円の黒字を計上し、今年度の中間決算で2億円の黒字が明らかとなった。黒字になった社員に還元するとしてきた会社自らの約束も守らないやり方は許せない。貨物会社の悪しき状況を変えるためにも客貨一体で闘っていくことが大事だ」と力強く訴えた。

同日夕方の福島県集会是、郡連協事務局において開催され、30人の仲間が抗議集会に参加した。集会では貨物福島分会熊田委員長が情勢報告と決意表明を述べ、各分会代表らが連帯の決意表明を行った。また29日の宮城県集会上には宮城県支部と仙総支部の仲間約50人が結集し、大越議長の情勢報告後、宮城県



郡山工場前抗議集会

支部秋山委員長、仙総支部高橋書記長、貨物宮城分会内田委員長が決意表明をし、集会宣言を採択後に地本原書記長の団結頑張ろうで客貨一体で闘うことを確認した。貨物年末手当闘争においては国労東北協議会（佐藤）は、12月5日妥結に至った。

12・14 第 回地本アスベスト対策委員会
12・17 交 運 共 済 東 北 支 所 加 盟 団 体 代 表 者 会 議
12・18 第 3 回 地 方 執 行 委 員 会 ・ 第 1 回 闘 争 委 員 会
第 38 回 仙 台 地 方 運 輸 協 議 会 定 期 委 員 会

息の長い取組み

アスベスト対策委員会報告

今日の取組

05年10月15日に設置・開催された地本アスベスト対策委員会は、12月14日の会議で50回の開催を迎えた。委員会が都度言われる言葉だが、まさに「息の長い取組み」になっている。

地方大会以降、各支部で機関整備が図られており、対策委員に一部変更があったため周知する。また50回の対策委員会で確認された事項や議論の内容を一部掲載する。

地本アスベスト対策委員会構成員
地本 中島利彦委員長
佐藤勝副委員長

今後の取組み

①現場でアスベストが出てきた場合の対応マニュアルを会社に作成させる。

②特殊健康診断を受診し、「特殊健康診断結果報告」を地本へ集中する。

③職場で疑いがある人、国鉄OB・JRの相談に乗る。

④JR・APでアスベストの存在が明らかになった家族への健診を要求していく。

⑤「健康管理手帳取得」「労災申請」の仕方を学習し、即応体制に備える。

⑥退職する組合員に、引き続きアスベスト健康診断を受診してもらうよう、健康管理手帳の取得を要請する。

⑦大震災を経験しての職場の問題等を集約し会社との交渉に備える。

仙台総合車両所支部 渡辺一則委員

郡山工場支部 本田要一委員

山形県支部 田村孝一委員

自動車支部 安保功彦委員

12・21 安プロ・各支部業務部長合同会議
12・24 団交（14年3月ダイヤ改正支社提案）
12・25 団交（申31号・偽装請負に関する申入れ）

安プロ・業長会議から

12月20日、地方本部は第38回安全問題プロジェクト会議（安プロ会議）と第29回各支部業務部長合同会議を開催。会議での議論内容や地方本部の今後の方針などを報告する。

入換作業での事象

12月8日、磐越東線小野新町駅構内において748D車両の入換作業時に、乗務員が同駅構内鬼石踏切の警報でこの操作を失念したと思

感電・土木死亡事故

10月15日、東北本線塩釜SPで発生した感電事故及び10月22日、磐越西線翁島・更科信号場間で発生した死亡事故について、地方本部は安プロ会議において、関係職能協議会と協議・調整した結果、支社に申入れを行うことを確認した。

13年3月2日に発生した、奥羽線脱線事故では原因が確定していない（吹き溜まり）が、個人への責任追求ではなく、原因の究明と対策（人間の注意力に依存

列車脱線事故対策

12月19日16時39分頃、郡山総合車両センターにおいて、車体中心ピン（車体と台車をつなぐ重要なパーツ）が完全に台車に挿入されな

車両中心ピン不完 全挿入で車両移動

この車体の抜き寄せ作業は09年、国労が反対していたが外注化がされた業務であり、作業要員も直轄時より3割減にされるなど、安全と品質低下を招くとして、交渉の度に要員確保を要求していた。地方本部はこの事象について支社と折衝し、その内容によっては緊急申入れを実施するとしている。

組織情報！

国労東日本業務連絡報（12月20日第1112号）によれば、12月16日、JR東日本ユニオンとジェイアール労組が、組織統一大会を開催し、新労組「JR東日本労働組合」を旗揚げしたとある。

※以下概略

JR東日本ユニオンは、旧鉄産労と鉄労、国労内の一部が離合集散の上にとまっていた組織。またジェイアール労組はJR東労組（東日本旅客鉄労労働組合）の正常化を求め、JR東労組から分裂した組織。

この二つの組合の統合は、「民主化闘争」で一貫して「JR東労組は革マル」と言ってきたJR東日本ユニオンのスタンスからすれば「水と油」で、なぜ合併なのか誰もが不思議に思う。

退職のお知らせ

11月30日付

草野 白さん
郡山駅連合
(TSS船引駅)

長い間お疲れ様でした

来年を「望年」にする

▼今年も怒りに満ちた一年が過ぎ去ろうとしている。福島第一原発に関わる東電の底なしの嘘。指導どころか血税をつぎ込み手厚く保護し、国外に原発を売り込む安倍政権を手中にしている。とてし、普天間基地県外移設の公約を破り捨てた沖縄の自民党国会議員▼庶民を苦しめる消費税増税の決定と、闇の中で行われているTTP交渉。極め付きは特定秘密保護法案の強行採決・成立だ▼一方で



鉄道会社を目を

向ければ、JR北海道での相次いだ車両故障や火災、またレール異常の放置と検査データの改竄・証拠隠しが次々に明らかになっていく▼そして貨物会社の構造矛盾に端を発する年末手当の超低額回答と旅客会社との格差拡大▼思い起こせば自分が就職した83年は第二臨調・行革路

仲間の異動

◆一般異動

11月18日付

山際 淳さん
白石蔵王駅→福島駅
佐藤幸男さん
福島駅→二本松駅

12月1日付

須佐正恒さん
郡山駅→会津若松駅
日向孝治さん
仙建郡山→仙建仙台新幹線

穂積和男さん
仙台信通技セ→山形信号メセ

堀切 彰さん
郡山電力技セ→福島電力メセ

長沢勝利さん
仙建郡山→仙建会津若松

木藤昭弘さん
福島駅→米沢駅（冬期）

12月10日付

安保功彦さん
バス東北盛岡支店→福島支店

訂正とお詫び

国労せんだい2664号2面で和歌山地区本部とあるは近畿車掌協議会です。また文中では津波による被害者はJRではなかったと記載されていますが、仙石線陸前小野・野蒜間で被災した車両の乗客が亡くなっています。訂正しお詫びします。

お知らせ

○2014春闘勝利活動家交流集会

1月5日（日） 10時30分～15時

仙台市 アエル
情報産業プラザ セミナールーム

○地本組織対策会議

1月18日（土） 13時～19日（日） 11時30分

仙台市 ホテル法華クラブ